

静岡県作業療法士会
県士会会員各位

令和4年7月吉日
公益社団法人 静岡県作業療法士会
教育部理事 秋山尚也
教育部西部地区代表 萩原正寛

現職者共通研修（テーマ8～10 事例報告と事例研究、事例検討） 参加者募集、座長（事例報告会の）募集のご案内

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

令和4年度現職者共通研修会を以下の通り開催しますので、ご案内申し上げます。事例報告会は、日本作業療法士協会生涯教育制度の現職者共通研修対応です。参加者は「テーマ⑧事例報告と事例研究」と「テーマ⑨事例検討」、発表者は「テーマ⑩事例報告」が履修できます。

また事例報告会にて、より多くの先輩作業療法士の方々の参加により、作業療法全体の質の向上にも繋がると考えますので、ぜひ1人でも多くの先輩作業療法士の参加もお待ちしています。

謹白

—記—

1. 開催日：令和4年8月28日（日）

2. 開催方法：ZOOM

<使用上の注意点>

- ・研修会（ZOOM）への参加方法はパソコンを推奨します。ネット環境が整った場所で、有線ケーブルの使用を推奨します。
※パソコンでトラブルが生じた場合、携帯やタブレットを使用することでパソコンの復旧までの時間を補うことができます。
- ・ネット回線の関係により、途中でZOOMから退出した場合や、参加の様子が安定しない場合（反応等ない場合）、パソコンの前にはいないことが想定される場合、不参加扱いとさせていただきます。
- ・ビデオは基本的にoffにして下さい。また質疑応答を除きミュートにてご参加下さい。
- ・ZOOM参加時に表示される名前の変更をお願いします。
※第1部参加者 会員番号・名前 例（1234 静作太郎）。
※第2部参加者 参加グループを追加 例（A 1234 静作太郎）

3. プログラム

第1部 テーマ8「事例報告と事例研究」 ⇒申し込み：Googleフォーム

8:40～9:05 受付

9:10～10:40 「事例報告と事例研究」 講師：鹿田 将隆 氏（常葉大学）

※参加費：1000円（振込方法・期限は下記参照）

第2部 テーマ9.10 事例報告会 ⇒申し込み：Googleフォーム

10:30～10:50 受付 参加費：無料

11:00～12:30 テーマ9.10「事例検討」「事例報告」

※発表者については下記参照

参加申込時は参加グループの選択を行ってください。（Aグループ or Bグループ）

下記発表プログラムにてご確認ください。

4. 座長募集について（静岡県認定作業療法士に限る）

事例報告会開催において認定作業療法士を対象とし座長の募集を行ないます。理由としては、認定作業療法士更新要件の一つとして、「作業療法の啓発に関する社会的貢献（他団体事業への参画、協会・士会の事業、原稿執筆、座長、論文査読など）」と記載されています。社会貢献の機会を増やす目的とし教育部として事例報告会での座長の機会を設定させて頂きました。座長の選定については、教育部内で検討し決定したいと思います。

※申し込み方法：Googleフォーム内

※座長募集人数：2名

座長決定：8月19日（金）前後に応募者全員に結果を通知いたします。

座長の先生には事前に抄録を添付致します。

5. 申し込み方法（テーマ8, 9, 10、座長）

Googleフォームにて

<https://forms.gle/m3eZ1ehuUFno9jf56>

※事例報告参加はグループの選択を行ってください

（下記プログラム参照）

切：8月19日（金）



【確認事項】

※事例報告会は無料ですが、参加希望者は必ず申込をお願い致します。

※第1部の「事例報告と事例研究」の参加者は、振込が確認できない場合は研修会履修とみなされませんのでご注意ください。

※上記 URL か QR コードより、Google フォームへアクセスして頂き、必要事項を入力し、最下部の「送信」ボタンを押してください。Google フォーム内の質問事項は、注意事項等も記載していますので、必ずお読みになり、確認をしながらご入力ください。

※申し込み後、自動返信機能（Google フォームから自動送信）により、申込者が入力した内容が、申し込み時に入力したメールアドレスへ届きます。メールが届かない場合は入力したメールアドレスに問題があるか、ブロック機能等の影響があります。迷惑メールフォルダ等をご確認の上、自動返信メールが届かない場合は、下記問い合わせ先のメールへご連絡ください。

※メールアドレスは、今後研修会案内等で連絡させていただきます。そのため、個人取得されている Gmail や Yahoo メール等のプロバイダーメールをご使用ください。迷惑メール等で返信できない恐れがある為 DoCoMo/au/SoftBank 等のキャリアメールはお控えください。また、不特定閲覧可能な 職場等の共有メールはお控えください。

※申し込み者様（注：振り込み済みの方）に対し、8月20日～8月24日にかけて、講義資料、ZOOM 情報などが掲載されている研修会 HP の URL 等をメールにて送信させていただきます。8月25日（木）になっても、メール連絡が来ない場合は、下記連絡先の Gmail（静岡県作業療法士会 教育部）までご連絡をください。必ずご入力頂いたアドレスのメール受信等を確認するようにしてください（迷惑メールフォルダを含め）。

6. 振込方法

・振り込み先：静岡銀行 本店営業部 普通 1789111

（名義）公益社団法人 静岡県作業療法士会教育部生涯教育班 西部 代表 秋山尚也

・振込期日を必ず守って下さい。振込期間：令和4年8月1日（月）～8月19日（金）

・振込手数料は申込者様負担にてお願い申し上げます。

・振込名義人の欄には、「協会会員番号」→「氏名」の順に記載して下さい。

例：00000 静岡太郎 ※免許番号でなく協会番号です。

協会登録申請中にて、協会番号がない場合は、名義人は「0 静岡太郎」として下さい。

【注意】所属施設の研修費などで参加される場合、振込名義人が「会員番号と氏名」での振込が、所属先の経理処理上困難な場合もあるようです。各々ご確認の上、経理処理に問題がないようにご対応ください。

- ・領収書の発行はいたしません。払い込み時に発行される、金融機関の振替払込請求書兼受領証、ATMでご利用明細書をもって領収書に代えさせていただきます。
- ・振込名義人が協会番号と氏名では困難、領収書が前記書類では困難でどうしても必要な場合は、下記お問い合わせ先へ、振込前にご連絡、ご相談ください。
- ・キャンセル等において、原則は振込後のキャンセルによる返金は致しかねますので、ご理解ご了承下さい。また、申込前に必ず静岡県作業療法士会のキャンセルポリシーを閲覧してください。

7. その他：

- ・協会及び県士会へ入会されていない方は、必ず入会手続きを済ませて下さい（参加は会員に限ります）。受講後、協会に申請をしますので協会会員番号を取得されていないと履修反映ができません。
- ・当日何か不具合等ありましたら浜松市リハビリテーション病院（作業療法士 秋山尚也宛）まで電話にてご連絡下さい。

（当日メールではタイムリーに対応できないため）

TEL：053 - 471 - 8331（研修会当日のみ）

対応時間：8:30～12:30

※事前の問い合わせについては下記メールアドレスまでご連絡下さい。

- ・今年度の事例報告会は年2回となります。次回は12月上旬を予定しています。平日夜間又は日曜日検討中です。詳細が決まり次第ご案内をします。

現職者共通研修

テーマ1	作業療法生涯教育概論	テーマ6	作業療法の可能性
テーマ2	作業療法における協業・後輩育成	テーマ7	日本と世界の作業療法の動向
テーマ3	職業倫理	テーマ8	事例報告と事例研究
テーマ4	保健・医療・福祉・地域支援	テーマ9	事例検討（聴講）
テーマ5	実践のための作業療法研究	テーマ10	事例報告（発表）

8. お問い合わせ先

静岡県作業療法士会

教育部 西部地区担当 萩原正寛 宮野真伍

メール：Kyoikubu.seibuchiku.shizuot@gmail.com

テーマ 9～10 事例報告会

受付 10:30～10:50 開始 11:00～12:30

※ブレイクアウトルームにて 2 グループに分かれて行います。参加時は同時進行のためグループ間の移動はできませんのでご了承下さい。

.....A グループ.....

- ① 1人での狭い世界が広がった症例 - 人へ意識を向ける介入と動きを促す介入を通して -
○横田 遥 氏 (静岡済生会療育センター令和) SV:伊井 玄 氏
- ② 「目標共有し退院支援に繋げた事例 - A-DOC のしよを通して -」
○瀬川 菜月 氏 (リハビリテーション中伊豆温泉病院) SV:金子 智治 氏
- ③ 「回復期初期の重度片麻痺患者に対して環境設定から起居見守りになった症例」
○芦澤 萌利 氏 (静岡リハビリテーション病院) SV:串田 雄一郎 氏
- ④ 「退院後自宅外出を目指し段階的な家族指導を行った一例
- 新型コロナウイルス感染症対策の中での家族との関わりについて -
○福田 千紗子 氏 (静岡リハビリテーション病院) SV:長倉 杏佳 氏 串田 雄一郎 氏
- ⑤ 「ADL の成功体験により行動範囲拡大に至った頸髄症事例
- リウマチに配慮した動作指導・環境設定を通して -」
○北村 俊行 氏 (遠州病院) SV:黒飛 陽平 氏

.....B グループ.....

- ① 「重度運動麻痺・疼痛の訴えが強い症例の離床時間延長を目指して」
○中島 楓 氏 (静岡リハビリテーション病院) SV:串田 雄一郎 氏
- ② 「車椅子操作獲得から病棟内活動量が向上した症例
- 介入中のポジティブフィードバックの実施 -」
○掛川 和樹 氏 (静岡リハビリテーション病院) SV:井上 洋輔 氏 串田 雄一郎 氏
- ③ 「脳卒中後の麻痺手不使用に対する取り組み」
○須藤 育美 氏 (聖稜リハビリテーション病院) SV:田中 実加 氏
- ④ 「作業活動を行うことで高次脳機能面や情緒面に変化がみられた症例
- 塗り絵やちぎり絵を通して -」
○村松 里穂 氏 (聖稜リハビリテーション病院) SV:山田 弓恵 氏
- ⑤ 「意味のある作業である「草取り」と「折り紙手芸」を再獲得した事例
- 高齢者のその人らしさの支援 -」
○岩井 咲樹 氏 (公立森町病院) SV:津野 剛雄 氏
- ⑥ 「未定」
○田中 裕介 氏 (熱海所記念病院) SV:未定